

## デカ！

株式会社榎戸材木店  
会長 榎戸正人

スマホは今や必需品で、特に若者にとっては命の次に大切だとさえ言えるほどです。何をするにもスマホ、スマホ……アプリによっては使用するにはお金が掛かるので、その支払いのために食事代を削りアルバイトをするなど、まさにスマホの奴隷と化しています。

その点、私にとってスマホはガラケイの延長戦で、電話が使えればよい、会社や家族からラインで送られてきた文書や写真を見る程度の使い方しかしていません。家族も社員も自由自在に使いこなし、家を出るとき妻に「次の新浦安駅行のバスは何時かなあ」と言えばたちどころにスマホで調べてくれます。

旅行やレストランの予約も、スマホで一発。買い物もオンラインで買って、家まで配達してくれます。便利ではありますが、これにハマったらたちまち支払金額が溜まっていきます。

クレジットカード決済は何かを買った、使ったという記憶は残りますが、スマホ決済は使ったという意識がないまま「債務」が溜まっていく……

ポイントが貯まるのは嬉しいですが、携帯電話会社から「預金残高が足りず、決済が出来ません」という連絡が来たら、慌てて指定銀行口座にお金を入れなくてはなりません。支払いが滞るとスマホ契約自体が凍結されて、使えなくなってしまいます。これは死活問題です。

アメリカではクレジットカードやスマホ決済などの支払い残高が1万ドル、150万円程度あるのが標準だとされていますが、日本では約30万円程度とされています。アメリカではこの決済のためにアルバイトを掛け持ちしたり副業をする人が増えているそうですが、日本でもアルバイトをする若者が増え、さらには闇バイトに手を染める人まで出て来ます。違法なインターネットカジノが問題になっていますが、気軽なスマホ決済にハマるのも、合法ではありますが問題ではあります。自制心との戦いです。

私は「現金主義」の古い人間なので、支払限度30万円のクレジットカードしか使いません。しかもこのカード、決済は銀行口座からの自動引き落としではなく、請求書が来たら近くのコンビニに支払いに行くという、便利なのか不便なのかわからないシロモノです。請求書が来て金額を見て「デカ！こんなに使ったっけ」と明細をチェック。30万円を超えたら、その部分は金利を払って翌月末支払いとなります。

それを恐れてスマホ決済は便利だとは思いつつ、やっていません。皆から有効利用していないと言われるますが、(元)経営者としては、決済不能は最も怖い……あまり多用していないにも関わらず、8年近くも使ったスマホの調子が悪くなったので、買い替えることに。たいした事には使っていないのだから性能はいつでもよくとにかく安いものをと、なんと2万2千円という格安のものを選びました。でも一応、国産品です。

しかし、安い分、集積度の高い小さな半導体を使っていないためか、とにかくデカイ！今まで使っていた左側のスマホが子供のようです。

ポケットから取り出すたびに「デカ！」と心の中で叫びます。これなら毎月の支払金額が「デカ！」にならずに済みそうです。でも、デカ過ぎて扱うときもシャープじゃないよなあ……

